



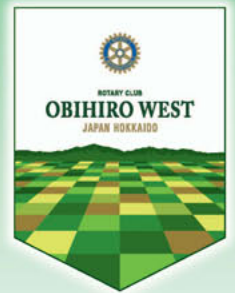
世界へのプレゼントになろう

帯広西ロータリークラブ

第2138回例会

会報

2016.5.26



■RI第2500地区テーマ■

もっとロータリーを楽しみましょう



■クラブ・テーマ■

大切な人にまごころを贈ろう

ゲスト紹介

ワッカコーポレーション(株)事業推進室 室長
農学博士 梅澤 弘一 様

会長報告

大友広明 会長



皆様こんにちは。今年は、事業とは別に新入会員、3年未満のメンバーに早くロータリーの目的と意味を理解してロータリーライフを楽しんでもらうために勉強会を行っていただき、先週木曜日に、小船井パストガバナールームをお招きして勉強会を行いました。内容は、RIの組織と歴史についてお話を頂きました。3年未満のメンバーには難しい話でしたが、その後の懇親会では小船井パストを囲んで色んな話が聞けて楽しく盛り上がっていました。

ロータリーで学んだ一番大切なこと私のロータリーライフは38年になります。地域社会の選ばれた有識者や異業種のロータリアンからいろいろなことを学ぶとともに、さまざまなロータリー活動を経験させていただきました。その中で学んだ一番大切なことは、「みんなのために、進んで役に立とう」ということです。

みんなのためにロータリーで私たちは、クラブのため、友人のため、家族のため、職場のため、世界のみんなのために役に立つよう教えられています。奉仕・サービスとは、「人の役に立つ」ことです。

進んで人に役に立つことを「自ら進んで」しようということです。ロータリーは「I Serve」。個人奉仕が主体的な考え方です。ですからクラブがどうの、国際ロータリーがどうの、と言う前にロータリアン一人ひとりが常に自分で考えて、世の中のために役立つことをしよう、というのがロータリーの奉仕の精神だと思います。「ロータリーの目的」の第三には「ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実施すること」とあります。奉仕活動の中には、団体で行った方が効果的なものもあります。それは団体奉仕ですればよいのです。

役に立とうロータリーの奉仕の理念は「Service Above Self」です。「超我の奉仕」と翻訳されていますが、日本のロータリー創始者である米山梅吉氏は、

「サービス第一、自己第二」と訳しています。「Above」には、「より上に」と「より先に」という意味があります。人間はとかく自分のことばかり考えがちです。まず他人のことを考えて、自分のことは後で考えようではないか、という米山氏の訳の方が適しているように感じます。ロータリーで学んだこの「みんなのために、進んで役に立とう」という奉仕の精神を自分たちロータリアンだけでなく、皆にも広げることが大切でしょう。

会務報告

太田 豊 幹事

- ①帯広北RC、移動例会開催のご案内
日 時 5月27日(金)午前11時
場 所 帯広市学校給食センター
- ②第1回 清水・上士幌・帯広西3RC合同例会開催のご案内
日 時 6月2日(木)午後0時30分
場 所 北海道ホテル



ニコニコ献金 親睦活動委員会 河西智子 委員長

今週土曜日、5クラブ対抗親睦ゴルフ大会が有ります。今年は、20回目の節目で亡くなられた川上先生の意味を継いでいく川上哲平杯になりました。優勝出来るよう頑張ってください。

太田 豊 幹事

ラスト1ヶ月となりました。笑顔が絶えません。本日のゲスト梅澤先生のアカデミックなお話楽しみです。宜しくお願い致します。

渡部 省一 委員長

本日の担当例会、宜しくお願いします。

佐藤 聡 委員長

本日の勝毎で、事業協同組合のチーズ熟成庫の件が第一面で取り上げられました。

工藤 正宏 委員長

5月20日に申年生れ五代の会「五申会」が無事終了し還暦祝いをし会長としてデビューをしました。

ニコニコ	5月26日	10,000円	
献金	累計	712,661円	(5月26日現在)



会長 大友 広明
幹事 太田 豊

副会長 若林 剛
副会長 萱場 誠一

会場監督理事 飯田 正行
プログラム委員会理事 松見 喜明

発行：広報委員会
委員長 工藤 正宏 (副)伊東 肇



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033



「農業と共に形成されてきた耕地防風林」

ワッカコーポレーション(株)事業推進室 室長 農学博士 梅澤 弘一 様

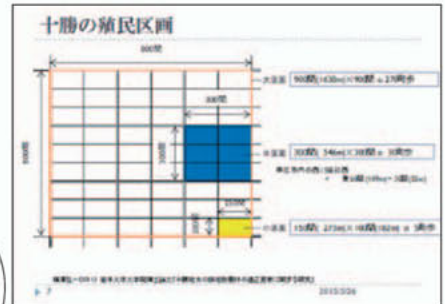
■防風林が必要な理由■



防風林が必要な理由

春に強風が吹くと、

- 播種した種子が飛散
- 生育間もない作物が飛砂により物理的損傷
- 生育間もない作物が飛散による枯死
- 風食による表土(土壌養分)飛散
- 作物が倒伏



十勝地域の防風林の総延長は?
正解は3,600Km

北海道の防風林に関する歴史

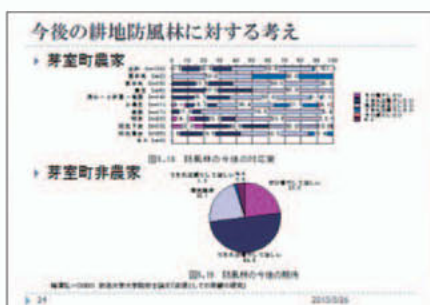
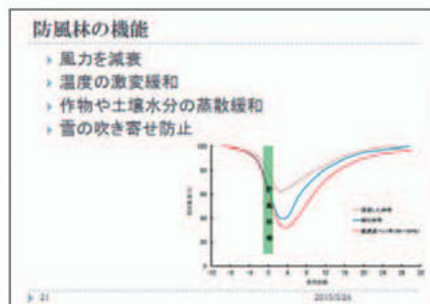
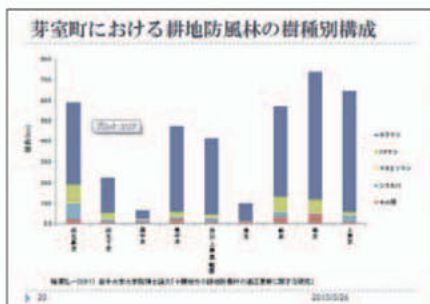
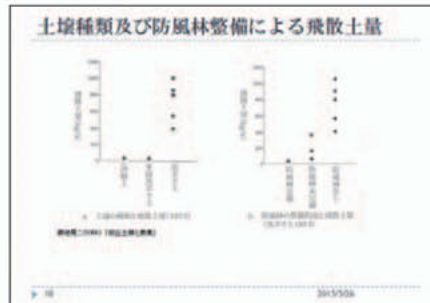
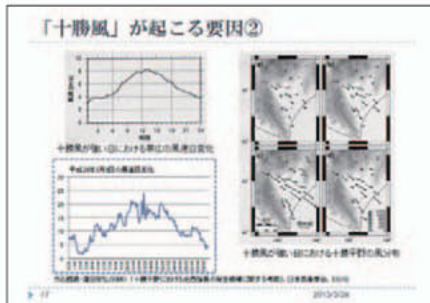
- 1896(明治29年)
 - 北海道庁の「殖民地選定及区画施設規程」制定
 - 1800m(約13.2km)以上の天然林を防風林として存置
- 1897(明治30年)
 - 旧防風林法制定
 - 新設防風林が防風保安林
- 1918(大正7年)
 - 防風林の存置標準として30m以上100m以内の幅員を規定
- 1933年(昭和8年)
 - 「防風林法」制定
 - 新たな耕地防風林500m以上の設置に対する補助取組

十勝の主な防風林

- 防風保安林(幹線防風林)
 - 国、北海道、市町村などが管理する広幅員の防風林
 - 保安林に指定
- 耕地防風林(支線防風林)
 - 農家が自主的に植栽する少数列の防風林

「十勝風」が発生する要因①

- 北海道東方海上に発達した低気圧
- 上空に強い北西風
- 日中に寒気の流れ込み
- 日射による熱対流が発生



おわりに

景観を守るか-守らないかということも無自覚に問題設定することは危険である。景観をいかにして守るかという問いを立てる前に、景観は本当に問題化しているのか、景観とはそもそも守られるべきものなのか、景観の価値を人々は認めているのかについて、きちんと議論しておく必要がある。